

ノーサイド

北原 巖 男

に寄り添おうとされている
天皇陛下は、コロナ禍の真
っ只中に在る私たち国民に
寄せる思いを、自らの「お
ことば」で語ってください
ました。(筆者抜粋)

「終戦以来七十五年、人々
のたゆみない努力により、
今日の我が国の平和と繁栄
が築き上げられました。が、
多くの苦難に満ちた国民の
歩みを思うとき、誠に感慨
深いものがあります。

しかし、現下の新型コ
ロナウイルス感染拡大の
ため、参列者は例年(約
6000名)の1割以下
の約540名、参列遺族
は過去最少の約190名
に留まりました。

こうした中、常に国民

「おことば」の中に、現在
の問題を盛り込まれたのは
初めてのことです。戸惑い
を感じられた方もいるかも
しれません。

しかし、いま私たちが直
面している新型コロナウイ
ルスによる危機は、先の大
戦以来の最大の新しい苦難
です。「おことば」は、国
民と一緒

に共有
し、みんなが互いに力を合わせ、心
を一つにして戦って行け
ば、絶対この病に屈するこ
とは無い！必ず乗り越える
ことが出来る！との国民に
寄り添う心からの願いと激
励が込められていると思い
ます。

「私たちが町は空っぽで
はなく、お互いに対する愛
情と思いやりに溢れていま

下が、折に触れ自らのおこ

す。決してあきらめないで。
決して絶望しないで。」(2
020年5月8日第2次大
戦欧州戦勝記念日)
「私たちが町は空っぽで
はなく、お互いに対する愛
情と思いやりに溢れていま

白居易の「雪月花時最憶
君」(雪月花の時、最も
君を憶う)に由来し、筆
者の所谷尚武氏が思いを
込めて命名された経緯が
あります。

生産物書き&どこまで
もペンと共に生きる人間
ジャーナリスト所谷尚武
氏。
四季折々に発する同氏
のことばは、多くの読者
の皆さんの心を揺さぶり
の皆さんを励ましていま

8月15日付け本紙の一番
最後のページ。
「オッ」と多くの読者の
皆さんが釘付けになったの
ではないでしょうか。「雪
月花」。そうです、本紙の
看板コーナーが元気に帰っ
て来たのです。やはりピシ
ッと引き締まります。

コーナリー名は、唐の詩人
隊友会理事
北原 巖男(きたはらい
わお) 元防衛施設庁長
官。元東ティモール大使。
現(一社)日本東ティモ
ール協会会長。(公社)